

安全保障理事会議長声明

「コンゴ民主共和国に関する事態」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2010年9月17日に開催された、安全保障理事会の第6387回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、安保理決議1820(2008)、1882(2009)、1888(2009)、1894(2009)および1925(2010)を再確認しつつ、また8月26日、9月8日と9日の報道に対する安保理議長声明を想起しつつ、7月後半および8月にコンゴ民主共和国の東部で起きた大量のレイプについて安保理の強い非難をくり返し表明し、安全保障理事会は、コンゴ民主共和国政府に対し、これら恐るべき犯罪の実行者の迅速且つ公正な訴追を確保すること、また、この目的のためにとられた措置について安保理に報告することを促す。安全保障理事会は、犯罪の実行者に目標を絞った措置を含む、全ての適切な行動を考慮する安保理の用意の整っていることを表明する。

安全保障理事会は、その領域の安全を確保しまた法の支配、人権および国際人道法を尊重してその国民を保護する、コンゴ民主共和国政府の主要な責任を強調する。

安全保障理事会は、コンゴ民主共和国政府に対し、これらの残虐行為を非難することおよび性的虐待の被害者に対する効果的な支援を提供すること並びに被害者を保護しかつ支援しまた更なる暴力を防止するために市民社会を含む全ての関連利害関係者により講じられた取組を支援することを、求める。

安全保障理事会は、コンゴ民主共和国政府が、国際連合および他の関係者と協力して、不処罰を終わらせること、とりわけ甚だしい人権侵害に対し責任を負う者は責任を負わなければならないこと、を求めたコンゴ民主共和国政府に対する安保理の緊急の呼びかけを、くり返し表明する。安全保障理事会は、上記事件の根本原因に対処するコンゴ当局を支援することを決意する。

安全保障理事会は、不処罰に対する闘いは、治安部門の緊急に必要なとされる改革の不可欠な部分であることを強調する。安保理は、関連する多数国間および二国間援助供与国並びに現在の職務権限の範囲内でMONUSCOの支援を得てコンゴ当局が、その軍事的能力を強化するための、コンゴ国家警察の訓練および装備を増強するための並びに司法および矯正制度の能力を向上するためのその取組を続行することを、奨励する。

安全保障理事会は、文民を保護し守るための取組を向上するためのまたコンゴ民主共和国政府におけるMONUSCOの影響力を改善するための平和維持活動局の勧告に興味を持って留意する。

安全保障理事会は、より良い情報収集制度および意思疎通手段を通してを含む、共同体との関係を改善するMONUSCOの必要性を強調する。これに関連して、安全保障理事会は、MONUSCOに対し、信頼を強化しまたその職務権限と活動についての意識と理解を高めるために一般市民との定期的な相

相互作用を高めるための取組を続行することを促す。安保理は、必要とされる地区における増加した共同体との連絡、増加した巡視および適切な連絡設備の重要性に注意を向ける。

安全保障理事会は、性的暴力の被害者が報告することまた治療と法的支援を求めることを奨励するため、ラジオ・オカピを含む、意識向上キャンペーンの MONUSCO と国際連合国別現地チームによる始動を支援する。

安全保障理事会は、武力紛争中およびその後の女性と子どもに対するあらゆる形態の暴力を除去する安保理の決意を再確認する。安保理は、紛争における性的暴力に関する事務総長特別代表の活動を支援し、また、国際連合の対応を調整するためにまたコンゴ民主共和国における性的暴力と闘う国際連合包括的戦略の履行を監視するために MONUSCO の性的暴力部門と定期的に互に行動しあうことを同代表に奨励する。安全保障理事会は、今月後半の同国への同代表の旅行に期待しまた帰還後の説明を要請する。

安全保障理事会は、文民保護に対する MONUSCO の戦略およびこの戦略を履行する上で同ミッションが直面している包括的な課題に関する事務総長の説明を要請する。安全保障理事会は、文民保護に対する包括的な対処方法を支援することおよび天然資源の違法搾取に対し戦うことおよび効果的な国家の権威を確立し紛争の影響を受ける地区における法の支配を強化するため、とりわけ効果的なコンゴ武装集団の武装解除、動員解除および再統合（DDR）並びに外国武装集団の武装解除、動員解除、帰還、再定住および再統合（DDRRR）を促進するための取組で、同地域における平和と安全を確実にすることを継続する。